

第 47 回通常会員総会開催をご案内致します。

第 47 回通常会員総会式次第

定款第 16 条に則り、下記次第にて第 47 回通常会員総会を開催致します。

ご多忙のところ恐縮ですが、出席くださいますようお願いいたします。

欠席の場合は、投函期日までに委任状の返信頂けますよう、お願い申し上げます。

(委任状は会長または出席理事の氏名をご記入願います)

2023 年 6 月

一般社団法人 日本映画テレビプロデューサー協会

会長 奥田 誠治

日 時 2023 年 6 月 27 日 (火) 17 時 30 分開会

会 場 東映本社 8 階会議室 (東京都中央区銀座 3-2-17)

・ JR 有楽町駅、地下鉄銀座駅下車 (C-6 出口が最寄)

マロニエゲート銀座 2&3 となり

議 事

開会の辞

物故者への黙禱

出席者数 (委任状) 総会成立

議長選出/挨拶 (会長)

第 1 号議案 (議決事項)

(イ) 2022 年度 一般会務報告及び事業活動報告について

(ロ) 2022 年度 収支計算書、貸借対照表について

(ハ) 2022 年度 監査報告—口頭説明—

第 2 号議案 (議決事項) —資料当日席上配布—

(イ) 功労会員の推薦について

(ロ) その他

第 3 号議案 (2022 年度理事会決議報告)

(イ) 2023 年度 事業計画及び収支予算について

第 4 号議案 (議決事項) —資料当日席上配布—

(イ) 任期満了に伴う理事・監事の選任について

※ 協会運営・各委員会のあり方についてのご意見をお願いします。

閉会の辞

* 総会当日、本議案書をご持参下さいますようお願いいたします。

* 総会後の懇親会はございません、ご了承下さい。

第 47 回通常会員総会議案

第 1 号議案（議決事項）

- (イ) 2022 年度 一般会務報告及び事業活動報告について
2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

I. 一般会務報告

1. 第 46 回通常会員総会を下記の通り開催した。

開催日時：2022 年 6 月 24 日（金）17 時 30 分 場所：東映本社 8 階会議室

出席者数：219 名（委任状を含む 正会員数：398 名 賛助会員数：49）

決議事項：以下第 1 号議案より第 3 号議案までいずれも全会一致で承認可決した。

第 1 号議案（議決事項）

- (イ) 2021 年度 一般会務報告及び事業活動報告について
(ロ) 2021 年度 収支計算書、貸借対照表について
(ハ) 2021 年度 監査報告—口頭説明—

第 2 号議案（議決事項）

- (イ) 功労会員の推薦について
(ロ) 任期途中の理事の交代について

第 3 号議案（2021 年度理事会決議報告）

- (イ) 2022 年度 事業計画及び収支予算について

2. 理事会 9 回、各事業委員会はこのべ 18 回の会議を開催した。

II. 事業活動報告 *引き続きコロナ禍の影響を受けたが、活動は可能な限りの展開をした。

1. 組織強化活動

組織強化委員会が会員の新規開拓と組織強化について検討、並びに関係各社への積極的な

働きかけを行った。

2023 年 3 月 31 日現在会員数（カッコ内は前年度数）

正会員	功労会員	賛助会員	合計
262 (263)	116 (116)	48 (49)	426 (428)

2. 広報活動

- (ア) 会報委員会は〈ANPA・NOW〉を9回発行した。特集記事として「私の新人時代」「只今撮影中！」などをとり上げた。また協会主催の催し物であるエラントール賞、総会、ゴルフ会、国際ドラマフェスティバルなどの開催告知と結果報告をそれぞれとりあげ、会員はじめ関係各位に約700部を毎号配布した。
- (イ) ホームページ上に会報を掲載し、さらに情報公開をすることにより全国に存在感をアピールした。

3. 著作権関連

全国フィルム・コミッション連絡協議会において映像制作振興への支援を行った。

4. 国際交流関連

第35回東京国際映画祭の東京ドラマアウォード2022授賞式(2022年10月25日)に参加した。

5. 親睦交流活動

親睦委員会は会員並びに映画、テレビ関係者との交流と親睦を図るため、春と秋の親睦ゴルフ会を行った。

6. 総務関連

2023年度の協会手帳を作成し協会員に配布した。

7. プロデューサーズ・カフェ

コロナ禍が収束に向かいつつある中、23年1月10日にオンライン形式で開催(講師・治部れんげさん)、会員60名が参加、盛会となった。

8. アクターズセミナー

昨年に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止の已むなきとなる。

9. 国際ドラマフェスティバル in Tokyo2022(支援事業)

当協会は東京ドラマアウォード2022の選考を行い、以下の運営にあたって強力なサポートを行った。

2022年10月25日(火)16:00~17:30 東京プリンスホテル

*東京ドラマアウォード2022各賞発表、授賞式 ☆海外作品特別賞表彰

☆個人賞表彰 ☆ローカル・ドラマ賞表彰 ☆主題歌賞

☆作品賞(単発ドラマ部門)表彰グランプリ:「オリバーな犬、(Gosh!!)このヤロウ」
NHK

作品賞(連続ドラマ部門)表彰グランプリ:「最愛」TBS

参加者は、感染対策の為、関係者のみが出席した。

10. 支援活動

日本アカデミー賞、毎日映画コンクールに選考委員を派遣し積極的な支援活動を行った。

内閣府、環境省の主催する映像関連事案に委員を派遣し、支援活動を行った。

11. エランドール賞授賞式（顕彰事業）

3年ぶりに2月2日（木）京王プラザホテルにて授賞式を開催した（新春パーティーは行わず）。協会関係者、各メディア（テレビ、新聞、雑誌）取材陣、およそ150名の参加で

一般観客の入場は、感染防止対策上控えた。

式典には、来賓として都倉俊一文化庁長官が出席、祝辞を述べられた。

例年と異なり、飲食を伴わない式典だったが受賞者や豪華なゲストが登場し盛会となった。

式典の様子は日本映画放送が収録、3月に3回放送された。

<受賞者一覧>

【プロデューサー賞・プロデューサー奨励賞☆田中友幸基金賞】

・映画部門

プロデューサー賞「ある男」

田淵みのり（松竹）秋田周平（松竹）

・テレビ部門

プロデューサー賞 「カムカムエヴリバディ」

堀之内礼二郎（NHK）

プロデューサー奨励賞「ミステリと言う勿れ」

草ヶ谷大輔（フジテレビ）

【特別賞】

「ONE PIECE FILM RED」製作委員会（フジテレビ）

「鎌倉殿の13人」制作チーム（NHK）

「silent」制作チーム（フジテレビ）

【新人賞☆TVガイド賞】（男性女性交互五十音順）

中川大志

芦田愛菜

松下洸平

岸井ゆきの

間宮祥太郎

奈緒

コロナ禍の状況改善が見られ、感染防止に配慮しながら各関係者の協力を得て式典が行われ好評だった。次回は、今回の経験をふまえ形式を考えた

第2号議案(議決事項)

(イ) 功労会員の推薦について

2023 年功労会員候補

～一般社団法人日本映画テレビプロデューサー協会 定款第7条(2)～

功労会員 正会員の地位に10年以上あって年齢が満70歳に達した者のうち、この法人に、特に功労のあったとして会員総会において推薦された者

【昭和27年(1952年)7月1日～昭和28年(1953年)6月末日が誕生日の会員】

氏名	フリガナ	生年月日	メモ	会員番号	入会日
河毛 俊作	カワケシュンサク	1952/9/4	(株)フジテレビジョン	20184	1986/05
島本 雄二	シマモトユウジ	1952/10/22	島ラボ	20099	2007/06
福島 誠	フクシママコト	1952/12/14	(株)宝映テレビプロダクション	20021	1990/12
森川 真行	モリカワマサユキ	1952/10/23	(株)ファインエンターテイメント	20066	2008/06